

中学部だより



茨城県立大子特別支援学校

中学部 臨時号

9月27日(木)~29日(金)の3日間にわたって防災について学習を行いました。

1日目の午前中は防災士の方を招き、防災グッズの紹介や、身近な物でできる防災用品について学びました。



午後からは、三角巾を用いての応急手当やVRを使つての防災体験を行いました。



2 日目は、「キャンプ村やなせ」で非常食づくり体験を行いました。羽釜での米炊き班、お鍋での米茹で班、手製の七輪を使ってのウィンナー焼き班に分かれて食事づくりを行いました。初めての火おこしは風上や風下に合わせて立ち位置を考えたり、炭の火を強くするためにうちわで風を送ったり、限られた水で効率的に米を研ぐ方法などを考えたりしました。



2 日目を終え、1 年生は電気も水もガスも使えないという設定で宿泊をしました。薄暗くなる中、懐中電灯やランタンを使って、夕飯を作ったり、トイレに行ったり、身体を拭いたり普段の生活とは異なる体験をすることができた宿泊学習となりました。



今年度は大子町から一人ひとつ防災テントを借用し、設置しました。自分のスペースがあるという安心感を得ることができました。午後は中学部で後片付けを行いました。一人一人が積極的に行動し自然に協力し合う姿が印象的でした。